

テレワーク・デイズ
2018報告会

富士通のテレワーク推進の 取り組み

2018年10月12日

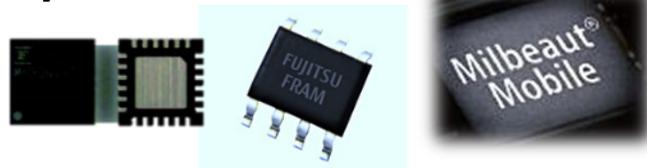
富士通株式会社
人事本部 人事部長
平松 浩樹

会社概要 - 事業内容と売上収益



デバイスソリューション

5,600億円



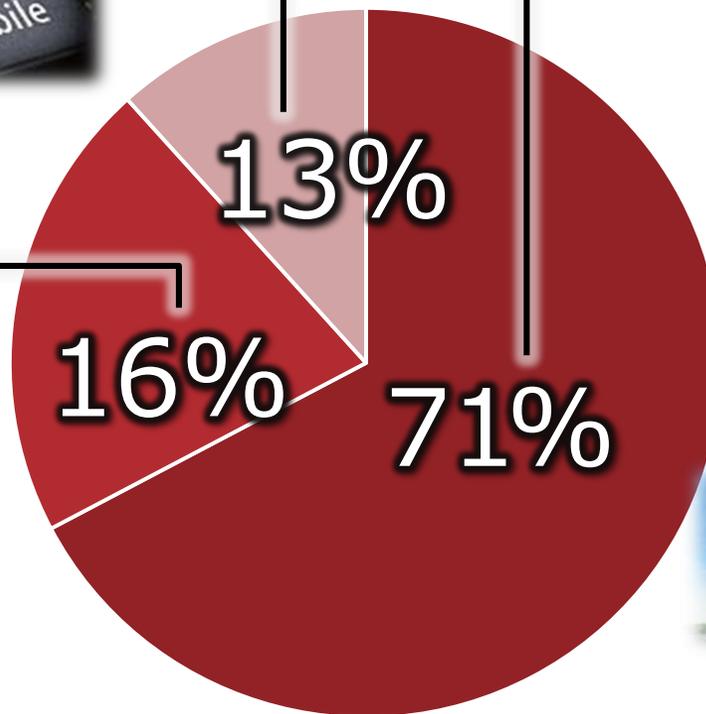
テクノロジーソリューション

3兆527億円



ユビキタスソリューション

6,639億円



2017年度売上収益 : 4兆983億円

富士通単体の人員



SE職

17,000名

開発職

6,800名

営業職／マーケティング職

6,200名

スタッフ職他

5,000名

計 35,000名

※2018年4月時点

富士通の働き方改革

富士通の働き方改革の全体像

デジタル化への対応

ダイバーシティの推進/
労務構成の変化

長時間労働の是正

人事施策の基本方針

施策の全体像

健康経営

ダイバーシティ&
インクルージョン

働き方改革

高い
生産性の
実現

目指すべき働き方の実現

- 長時間労働を前提としない働き方
- 多様で柔軟な働き方

働き方に関する制度導入

- テレワーク勤務制度
- フレックス勤務、裁量労働制の見直し

働き方改革の実効性を高めるために

マネジメント改革

一人ひとりの意識改革

人事制度などの見直し、テクノロジーの活用

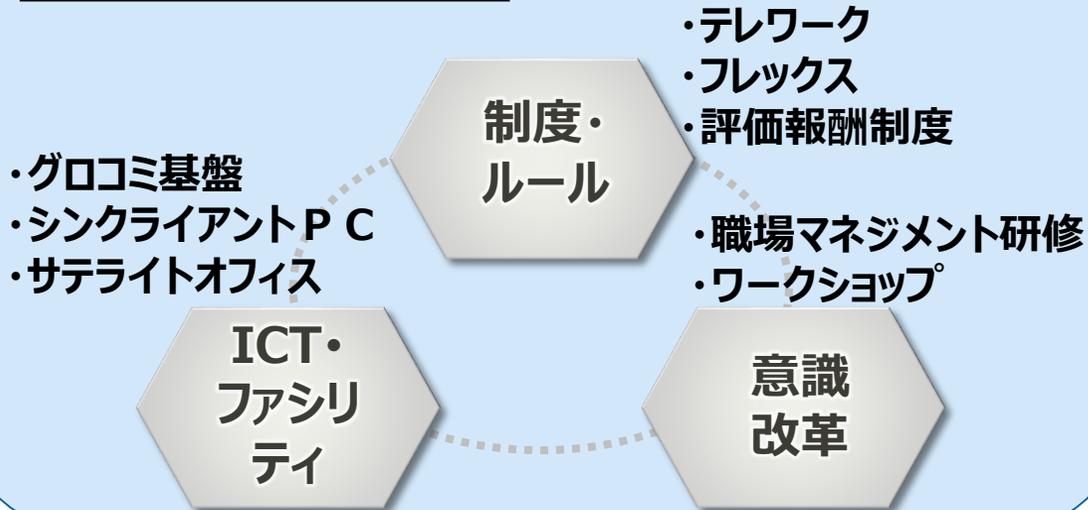
富士通の働き方改革の全体像

デジタル化への対応

ダイバーシティの推進 / 労務

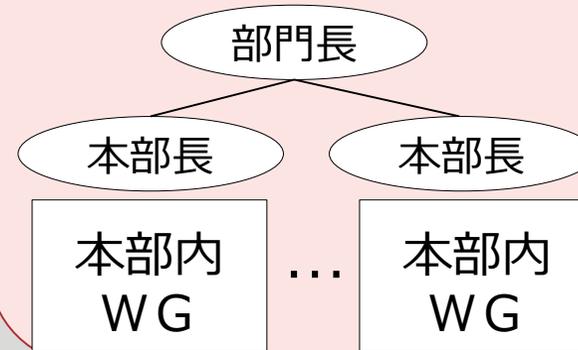
人事施策の基本方針

関連部門と一緒に、「制度・ルール」、「ICT・ファシリティ」、「意識改革」を三位一体で推進



■ 多様で柔軟な働き方

トップの強い意志のもとに、職場が主体になって、働き方改革を推進



各職場が業務の特性やお客様事情を踏まえて、前向きに働き方改革の計画立案と実践を行う。

マネジメント改革

一人ひとりの意識改革

人事制度などの見直し、テクノロジーの活用

17年4月 テレワーク勤務制度導入

FUJITSU

自宅

出先

サテライト

富士通株式会社 35,000人全員が対象

テレワーク勤務制度

- 全社員35,000人を対象に自宅やサテライトオフィス、出張先や移動中等、場所に捉われないフレキシブルな働き方を可能とするテレワーク勤務制度を2017年4月より正式導入

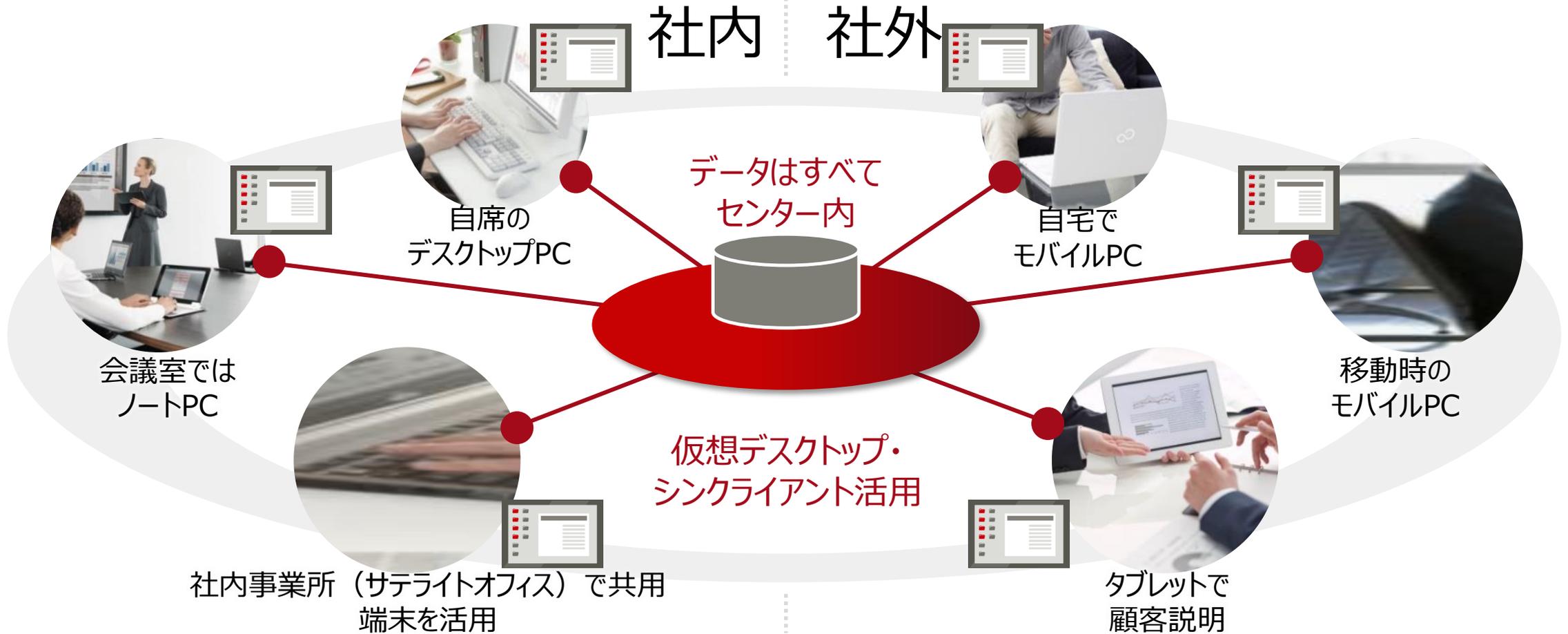
テレワーク勤務制度

対象者 / 対象職場	組織単位の適用とし、自律的・計画的に働ける社員を対象
利用回数	利用回数の制限は設けない ただし、終日テレワークで勤務する場合は、2回/週からスタート
利用時のルール	スケジュールの見える化とメンバー間の共有 S k y p e 等を活用したコミュニケーションの推進
時間外のルール	休日や深夜勤務時間帯はテレワークは原則禁止 終日テレワークの場合は8時間以内

※活用実態を見ながらルールは柔軟に見直していく。

セキュリティを担保した働き方を実現

■仮想デスクトップ、シンクライアントで環境に依存しない情報活用



軽量シンククライアントを新開発

FUJITSU

Before



重量：約1.7Kg

厚み：約27mm

After



17,000人が活用中

重量：約800g(47%)

厚み：約15.5mm(57%)

事務所・自宅ではない第3の空間



F3rd (社内サテライトオフィス)

F3rd+ (社内サテライトオフィス)

F3rd kawasaki



F3rd shinkawasaki



F3rd musashi-kosugi



F3rd tohoku



F3rd tokai



15拠点
展開済



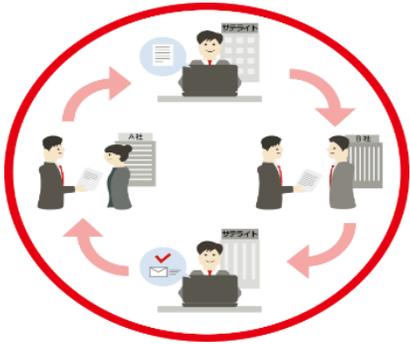
日本全国
165拠点

社員がより成長・活躍できるテレワークの活用ビジョン

～活用シーンをイメージ化したので、是非ご覧ください～

AFTER

お客様への
訪問回数を増やせる



A社訪問後はサテライトオフィスに立ち寄り 事務作業をこなして遠地出張先や常駐先からでも B社へ訪問

情報共有や意思決定が 速くなる



重要な会議に参加してもらえる

グローバル連携が しやすい
なる



自宅に帰ってから国際電話会議 終わったらすぐにオフモード

効率的に働き
自己投資の時間をつくる



通勤時間を削減して 浮いた時間を有効活用

無理なく
安心安全に働ける



ペースを乱さず 自宅で仕事

1. スピードアップテレワーク

2. 効率化テレワーク

3. グローバル対応テレワーク

4. ワークライフバランステレワーク

5. BCP 対応テレワーク

BEFORE

A社訪問後に作業で帰社
B社訪問は明日以降…



もっとお客様との時間をとりたい

事務作業のためだけに帰社!?

移動時間をもたない

意思決定者が不在で
プロジェクトが進まない…



出張が多いメンバーをつかまえられる…

常駐先から会議に参加できない

全員のスケジュールを合わせると打合せは先延ばし

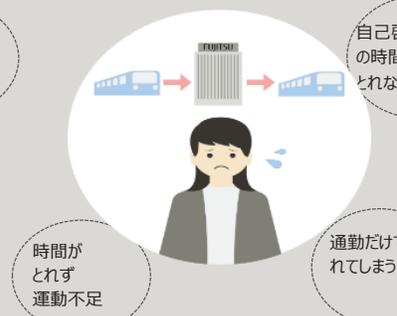
時差があるので
夜中まで会社で待機…



深夜・早朝出勤は辛い

待機時間は無駄!
帰宅してもすぐには休めず体が辛い

朝から夜まで会社
自分の時間はとれない…



自己啓発の時間がとれない

時間がとれず運動不足
通勤だけで疲れてしまう

大雪で交通麻痺…
でも会社に行かないと…



会社に行くだけでハット

やるべき仕事があるのに焦る

デジタル化の進展

グローバル化の進展

働く人の多様化

テレワークによる効果

■ テレワーク導入職場

約70%

■ 時間の有効活用向上

85%

■ ライフワークバランス向上

50%

テレワークによる効果 ～育児事情～

■ 育児事情のある女性社員

1,300名

■ テレワーク(在宅勤務)

71%

■ フレックス勤務

63%



テレワークによる効果 ～育児事情～

■ 育児事情のある女性社員

1,300名

■ テレワーク(在宅勤務)

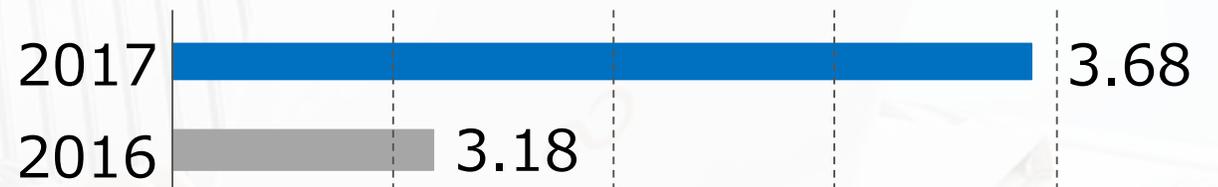
71%

■ フレックス勤務

63%

■ ES調査結果 (制度の利用しやすさ)

+0.5ポイント



テレワーク・デイズにおける取り組み

富士通が目指すテレワーク



- 必要な人が必要な時にテレワークを活用して働く
- テレワークは効率的に働くための選択肢の一つ

働き方改革に向けた環境整備の取り組みについて

テレワーク活用セミナー

当社エバンジェリストによる働き方改革セミナー

テレワークデイズでの活用状況

FUJITSU



在宅勤務
(10,000人)



モバイルワーク
(21,500人)



サテライト
(2,500人)

テレワーク実施者の延べ人数：34,000人
(1回以上のテレワーク実施者：15,000人)

働き方改革を順次整備

Step.3

AIを活用した新たな働き方改革の実践



人工知能



業務可視化



ChatBot

Step.2

制度改革・意識改革・ファシリティ改革



仮想デスクトップ



サテライト



意識改革



テレワーク制度

Step.1

コミュニケーションの改善



メール



ポータル



Web会議



掲示板



社内SNS



ソフトフォン



企業内動画



コンテンツ

2010

2011

2012

2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

基盤統一

働き方改革

働き方改革 2

(海外) 107社、約6万人

(国内) 富士通グループ164社、約10万人



FUJITSU

shaping tomorrow with you